

# 第 1 章 住宅・世帯の概況

## 1 - 1 総住宅数と総世帯数

総住宅数は5389万戸，増加率は7.3%

平成 15 年 10 月 1 日現在における我が国の総住宅数は 5389 万戸，総世帯数は 4726 万世帯となっている。平成 10 年の結果と比べると，総住宅数は 364 万戸（7.3%），総世帯数は 290 万世帯（6.5%），それぞれ増加した。また，第 1 回調査が行われた昭和 23 年の総住宅数は 1391 万戸であったので，その後の 55 年間で約 3.9 倍に増加したことになる。

昭和 38 年以降 5 年ごとの総住宅数の増加率をみると，38～43 年，43～48 年は 20%を超えていたが，昭和 48～53 年には 14.1%増と 10%台に低下した。その後，8～9%台の増加率で推移したが，平成 10～15 年は 7.3%に低下した。

表1-1 総住宅数，総世帯数，世帯人員，1世帯当たり住宅数，1世帯当たり人員及び住宅以外で人が居住する建物数 - 全国(昭和38年～平成15年)

年次	総住宅数 (1000戸) 1)	総世帯数 (1000世帯)	世帯人員 (1000人)	1世帯当たり 住宅数(戸)	1世帯当たり 人員(人)	住宅以外で 人が居住する 建物数 (1000戸)
<b>実数</b>						
昭和 38 年 *	21,090	21,821	93,441	0.97	4.28	258
43 年 *	25,591	25,320	99,814	1.01	3.94	309
48 年	31,059	29,651	108,255	1.05	3.65	329
53 年	35,451	32,835	114,998	1.08	3.50	278
58 年	38,607	35,197	119,306	1.10	3.39	244
63 年	42,007	37,812	122,659	1.11	3.24	184
平成 5 年	45,879	41,159	124,607	1.11	3.03	159
10 年	50,246	44,360	126,331	1.13	2.85	133
15 年	53,891	47,255	127,458	1.14	2.70	81
<b>増減数</b>						
昭和38～43年 *	4,501	3,499	6,373	0.04	-0.34	51
43～48年 *	5,219	4,097	7,455	0.04	-0.29	19
48～53年	4,392	3,184	6,743	0.03	-0.15	-52
53～58年	3,156	2,362	4,307	0.02	-0.11	-33
58～63年	3,401	2,615	3,353	0.01	-0.15	-61
63～平成5年	3,872	3,347	1,948	0.00	-0.22	-24
平成5～10年	4,367	3,200	1,725	0.02	-0.18	-26
10～15年	3,645	2,896	1,126	0.01	-0.15	-52
<b>増減率(%)</b>						
昭和38～43年 *	21.3	16.0	6.8	-	-	19.9
43～48年 *	20.4	16.2	7.5	-	-	6.1
48～53年	14.1	10.7	6.2	-	-	-15.8
53～58年	8.9	7.2	3.7	-	-	-11.9
58～63年	8.8	7.4	2.8	-	-	-24.9
63～平成5年	9.2	8.9	1.6	-	-	-13.2
平成5～10年	9.5	7.8	1.4	-	-	-16.4
10～15年	7.3	6.5	0.9	-	-	-38.8

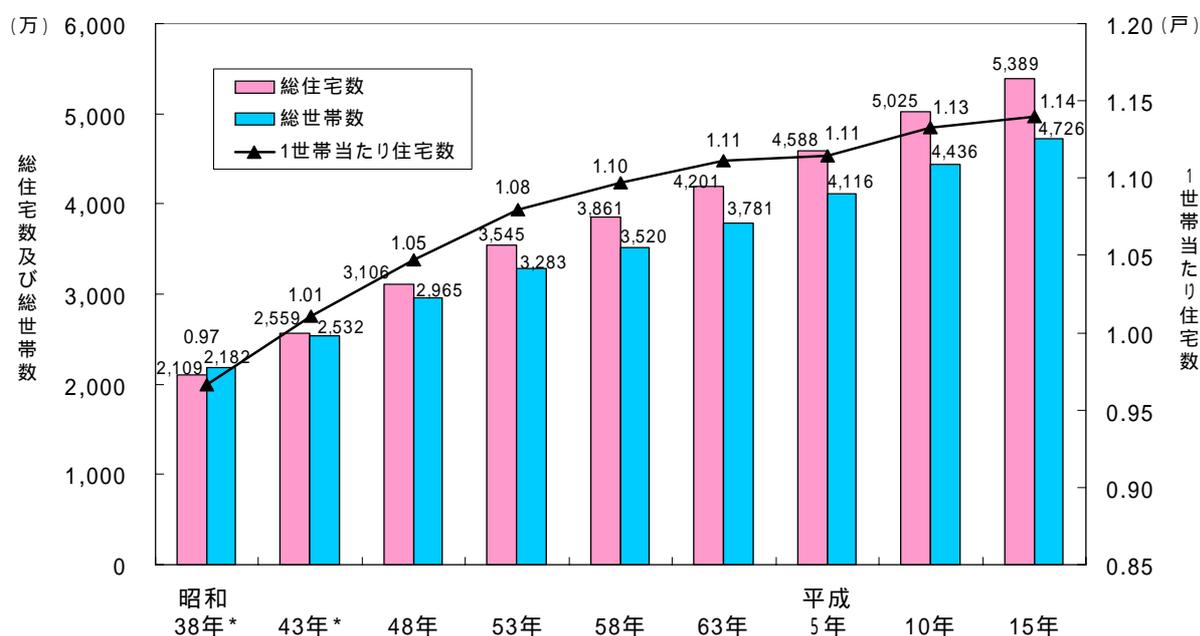
注) 1) 「居住世帯なし」の住宅を含む。  
\* 沖縄県を含まない。以下同じ。

## 1世帯当たり住宅数は1.14戸

平成 15 年 10 月 1 日現在の総世帯数は 4726 万世帯で、平成 10 年の 4436 万世帯に比べ、290 万世帯（6.5%）増加した。

昭和 38 年までは 総世帯数が総住宅数を上回っており、その後も住宅の量的不足は続いていた。しかし、昭和 43 年に総住宅数（2559 万戸）が総世帯数（2532 万世帯）を 27 万戸上回り、48 年には総住宅数（3106 万戸）と総世帯数（2965 万世帯）の差が 141 万戸となり、地域的にもすべての都道府県で総住宅数が総世帯数を上回った。その後も総住宅数と総世帯数の差は拡大を続け、平成 15 年には総住宅数（5389 万戸）が総世帯数（4726 万世帯）を 664 万戸上回り、1 世帯当たりの住宅数は 1.14 戸と 10 年の 1.13 戸を上回った。

図 1-1 総住宅数、総世帯数及び1世帯当たり住宅数の推移 - 全国(昭和 38 年～平成 15 年)



## 1 - 2 居住世帯の有無

### 居住世帯のある住宅は総住宅数の87%

平成 15 年の総住宅数を居住世帯の有無別にみると、居住世帯のある住宅は 4686 万戸で、総住宅数の 87.0% を占め、空き家などの居住世帯のない住宅は 703 万戸、13.0% となっている。

昭和 38 年以降のそれぞれの増加率をみると、居住世帯のない住宅の増加率は居住世帯のある住宅の増加率を常に上回り、この結果、居住世帯のない住宅の総住宅数に占める割合は、38 年には 3.4%、58 年には 10.1% と 10% を超え、平成 15 年には 13.0% となった。

また、居住世帯のある住宅のうち同居世帯のある住宅は、昭和 38 年の 97 万戸を最高に、その後減少が続き、63 年にはわずか 18 万戸となったが、平成 5 年は 20 万戸、10 年は 26 万戸、15 年には 28 万戸と増加している。

平成 15 年の居住世帯のない住宅 703 万戸の内訳をみると、昼間だけの使用など、ふだん居住し

ている者がいない「一時現在者のみの住宅」が33万戸、「空き家」が659万戸、「建築中の住宅」が11万戸となっている。これを平成10年と比べると、「空き家」は83万戸（14.4%）の増加となっているが、「一時現在者のみの住宅」は7万戸（17.2%）の減少、「建築中の住宅」は6万戸（34.5%）の減少となっている。

表1-2 居住世帯の有無別住宅数 - 全国(昭和38年～平成15年)

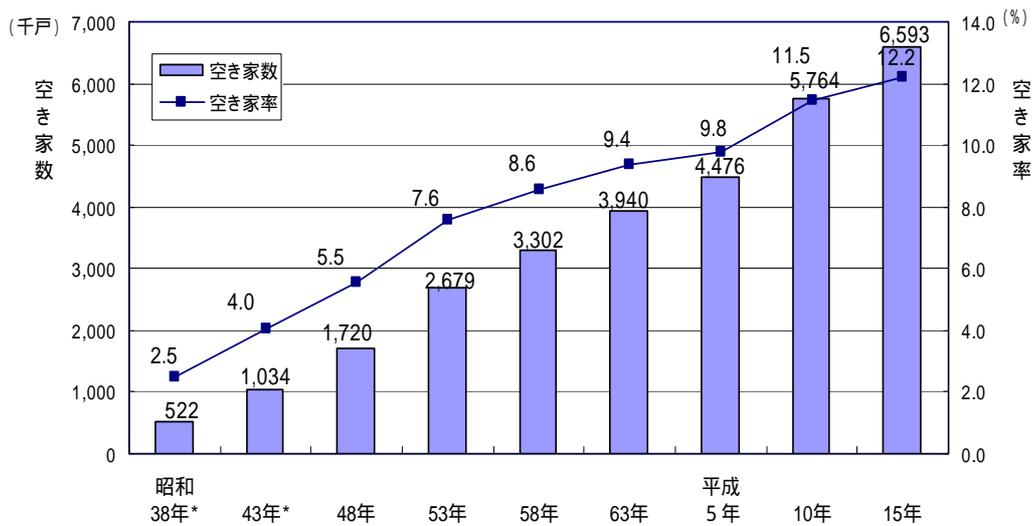
年次	総数	居住世帯あり		居住世帯なし							建築中
		総数	同居世帯あり	総数	一時現在者のみの住宅	空き家					
						賃貸用	売却用	二次的住宅	その他		
実数 (1000戸)											
昭和38年*	21,090	20,372	970	718	75	522	...	...	...	...	121
43年*	25,591	24,198	641	1,393	186	1,034	...	...	...	...	173
48年	31,059	28,731	477	2,328	344	1,720	...	...	...	...	264
53年	35,451	32,189	307	3,262	318	2,679	1,565	-	137	977	264
58年	38,607	34,705	196	3,902	447	3,302	1,834	-	216	1,252	154
63年	42,007	37,413	180	4,594	435	3,940	2,336	-	295	1,310	218
平成5年	45,879	40,773	196	5,106	429	4,476	2,619	-	369	1,488	201
10年	50,246	43,922	260	6,324	394	5,764	3,520	-	419	1,825	166
15年	53,891	46,863	280	7,028	326	6,593	3,675	303	498	2,118	109
割合 (%)											
昭和38年*	100.0	96.6	4.6	3.4	0.4	2.5	...	...	...	...	0.6
43年*	100.0	94.6	2.5	5.4	0.7	4.0	...	...	...	...	0.7
48年	100.0	92.5	1.5	7.5	1.1	5.5	...	...	...	...	0.9
53年	100.0	90.8	0.9	9.2	0.9	7.6	4.4	-	0.4	2.8	0.7
58年	100.0	89.9	0.5	10.1	1.2	8.6	4.8	-	0.6	3.2	0.4
63年	100.0	89.1	0.4	10.9	1.0	9.4	5.6	-	0.7	3.1	0.5
平成5年	100.0	88.9	0.4	11.1	0.9	9.8	5.7	-	0.8	3.2	0.4
10年	100.0	87.4	0.5	12.6	0.8	11.5	7.0	-	0.8	3.6	0.3
15年	100.0	87.0	0.5	13.0	0.6	12.2	6.8	0.6	0.9	3.9	0.2
増減数 (1000戸)											
昭和38～43年*	4,501	3,826	-329	675	112	512	...	...	...	...	52
43～48年*	5,219	4,303	-168	916	155	673	...	...	...	...	88
48～53年	4,392	3,458	-170	933	-25	959	...	...	...	...	-0
53～58年	3,156	2,516	-111	641	129	623	269	-	79	275	-110
58～63年	3,401	2,709	-16	692	-12	639	502	-	79	58	65
63～平成5年	3,872	3,360	16	512	-7	535	283	-	74	178	-17
平成5～10年	4,367	3,149	65	1,218	-35	1,288	901	-	50	337	-35
10～15年	3,645	2,941	20	704	-68	829	155	-	79	293	-57
増減率 (%)											
昭和38～43年*	21.3	18.8	-33.9	94.1	149.3	98.1	...	...	...	...	43.0
43～48年*	20.4	17.8	-26.2	65.7	83.1	65.1	...	...	...	...	50.6
48～53年	14.1	12.0	-35.5	40.1	-7.4	55.7	...	...	...	...	-0.1
53～58年	8.9	7.8	-36.2	19.6	40.4	23.2	17.2	-	57.6	28.1	-41.8
58～63年	8.8	7.8	-8.0	17.7	-2.6	19.3	27.4	-	36.4	4.6	42.0
63～平成5年	9.2	9.0	8.6	11.1	-1.5	13.6	12.1	-	25.1	13.6	-7.9
平成5～10年	9.5	7.7	33.0	23.9	-8.2	28.8	34.4	-	13.6	22.6	-17.3
10～15年	7.3	6.7	7.5	11.1	-17.2	14.4	4.4	-	18.8	16.1	-34.5

注) は、賃貸用に売却用を含む。

### 総住宅数の12.2%が空き家

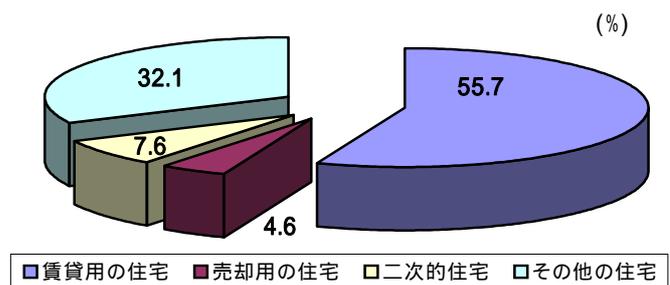
総住宅数に占める空き家の割合（空き家率）は、昭和38年の2.5%から一貫して上昇を続けており、48年に5.5%と5%台を越え、その後平成10年には11.5%と初めて10%台となり、15年では12.2%となった。

図 1-2 空き家数及び空き家率の推移 - 全国(昭和 38 年～平成 15 年)



平成 15 年の空き家 659 万戸の内訳をみると、「賃貸用の住宅」が 367 万戸で、空き家全体の 55.7% を占め、「売却用の住宅」が 30 万戸 (4.6%)、別荘などの「二次的住宅」が 50 万戸 (7.6%)、世帯が長期にわたって不在の「その他の住宅」が 212 万戸 (32.1%) となっている。

図 1-3 空き家の種類別割合 - 全国(平成 15 年)



### 1 - 3 むね数

#### 中高層化が進む共同住宅

平成 15 年の住宅のむね総数は 3164 万むねで、平成 10 年の 3026 万むねに比べ、139 万むね (4.6%) の増加となっている。

これを建て方別にみると、一戸建は 2880 万むねで、むね総数の 91.0%、長屋建は 64 万むね (2.0%)、共同住宅は 201 万むね (6.3%) となっており、一戸建が 9 割以上を占めている。これを平成 10 年と比べると、一戸建が 5.4% 増、共同住宅が 7.3% 増となっている。共同住宅の階数別にみると「6～10 階」は 33.3%、「11 階以上」では 53.4% の大幅な増加となっており、中高層の共同住宅の増加が著しい。一方、長屋建は 20.8% の減少となっている。

また、構造別では、木造が 2802 万むねで、むね総数の 88.6% を占め、非木造は 362 万むね、11.4% となっている。

表1-3 建物の建て方・共同住宅の階数，構造別むね数 - 全国(平成10年，15年)

構造	総数	一戸建	長屋建	共同住宅					その他
				総数	1～2階	3～5階	6～10階	11階以上	
実数(1000むね)									
平成15年									
総むね数	31,641	28,798	643	2,005	1,202	665	112	27	194
木造	28,020	26,686	531	717	690	27	-	-	86
非木造	3,621	2,113	113	1,288	511	638	112	27	108
平成10年									
総むね数	30,256	27,321	813	1,869	1,169	599	84	17	253
割合(%)									
平成15年									
総むね数	100.0	91.0	2.0	6.3	3.8	2.1	0.4	0.1	0.6
平成10年									
総むね数	100.0	90.3	2.7	6.2	3.9	2.0	0.3	0.1	0.8
増減数(1000むね)									
総むね数	1,385	1,477	-169	136	33	67	28	9	-59
増減率(%)									
総むね数	4.6	5.4	-20.8	7.3	2.8	11.1	33.3	53.4	-23.4

### 大型化する共同住宅

平成15年の共同住宅201万むねについて1むね内住宅数別の割合をみると、「5住宅未満」が33.8%と最も多く、次いで「5～9住宅」32.7%、「10～19住宅」19.3%と、これらの3区分で約9割を占め、1むね当たり住宅数は11.5戸となっている。これを平成10～15年の増加率で見ると「50～99住宅」は27.5%増と最も高く、次いで「30～39住宅」19.4%増、「100住宅以上」18.9%増と、共同住宅が大型化している。

また、共同住宅を構造別にみると、木造では、10住宅未満のむね数が88.7%を占め、1むね当たり住宅数が5.6戸となっている。一方、非木造では、10住宅未満と10住宅以上のむね数がそれぞれ54.2%、46.8%とほぼ二分されており、1むね当たり住宅数は14.7戸と木造の約2.6倍になっている。

表1-4 建物の構造，1むね内住宅数別共同住宅のむね数 - 全国(平成15年)

1むね内住宅数	実数(1000むね)			割合(%)		
	総数	木造	非木造	総数	木造	非木造
平成15年						
むね数	2,005	717	1,288	100.0	100.0	100.0
5住宅未満	678	364	313	33.8	50.8	24.3
5～9住宅	657	272	385	32.7	37.9	29.9
10～19	388	77	312	19.3	10.7	24.2
20～29	127	4	123	6.3	0.6	9.6
30～39	67	1	66	3.3	0.1	5.1
40～49	39	0	39	1.9	0.0	3.0
50～99	39	0	39	2.0	0.0	3.1
100住宅以上	11	-	11	0.6	-	0.9
1むね当たり住宅数(戸)	11.5	5.6	14.7			
平成10年～15年の増減						
むね数	136	-50	186	7.3	-6.5	16.8
5住宅未満	17	-30	46	2.5	-7.5	17.3
5～9住宅	39	-15	54	6.2	-5.4	16.2
10～19	38	-4	43	11.0	-5.1	15.8
20～29	16	-0	17	14.6	-8.9	15.6
30～39	11	-0	11	19.4	-16.7	19.7
40～49	5	-0	5	15.8	-50.0	16.2
50～99	9	0	9	27.5	-	27.5
100住宅以上	2	-	2	18.9	-	18.9

## 1 - 4 地域別にみた総住宅数と総世帯数

### 総住宅数の増加率が最も高い沖縄県

平成 15 年の総住宅数を都道府県別にみると、東京都が 619 万戸と最も多く、次いで大阪府が 413 万戸、神奈川県が 375 万戸、愛知県が 290 万戸、埼玉県が 283 万戸と続いている。

一方、総住宅数が最も少ないのは、鳥取県の 23 万戸で、次いで島根県が 28 万戸、福井県が 29 万戸、佐賀県が 30 万戸、徳島県が 34 万戸と続いております。鳥取県の住宅数は東京都の約 27 分の 1 となっている。

総住宅数は、平成 10 年～15 年の 5 年間に、すべての都道府県で増加しているが、増加数の最も多いのは東京都の 52 万戸増で、次いで神奈川県が 34 万戸増、大阪府が 28 万戸増、埼玉県が 23 万戸増、愛知県が 22 万戸増、千葉県が 21 万戸増と続き、これらの 6 都府県が 20 万戸以上の増加となっている。また、増加率では、沖縄県が 10.5% と最も高く、次いで神奈川県が 10.1%、滋賀県が 9.9% と高い伸びとなっている。

1 世帯当たりの住宅数をみると、山梨県が 1.24 戸と最も多く、次いで和歌山県が 1.22 戸、長野県が 1.20 戸、大阪府が 1.18 戸と続き、全国平均の 1.14 戸を上回っているのは 26 府県となっている。

### 空き家率の高い山梨県

空き家率をみると、山梨県が 19.4% と最も高く、次いで和歌山県が 17.5%、長野県が 16.7%、大阪府が 14.6%、高知県が 14.1% と続き、全国平均の 12.2% を上回っているのは 30 府県となっている。

一方、最も低いのは佐賀県の 9.4% で、次いで山形県が 9.6%、埼玉県が 9.7%、沖縄県が 10.0%、秋田県が 10.3% と続いている。

図 1-4 総住宅数の増加率 - 都道府県(平成 10 年～15 年)

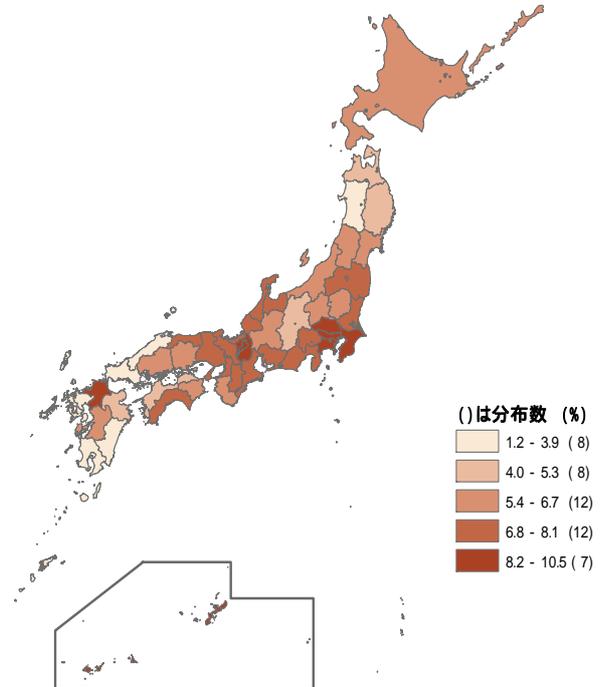


図 1-5 空き家率 - 都道府県(平成 15 年)

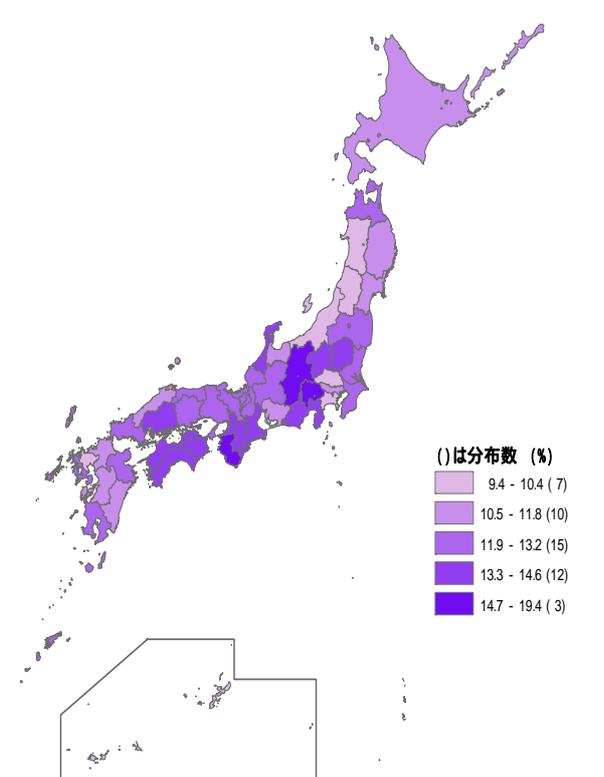


表1-5 総住宅数,総世帯数,1世帯当たり住宅数及び空き家率 - 都道府県(平成10年,15年)

都道府県	総住宅数(1000戸)				総世帯数 (1000世帯)	1世帯当たり 住宅数(戸)	空き家率(%)
	平成15年	平成10年	平成10年~15年の増加				
			増加数	増加率(%)			
全 国	53,891	50,246	3,645	7.3	47,255	1.14	12.2
北海道	2,572	2,433	139	5.7	2,278	1.13	11.8
青森県	559	534	25	4.7	489	1.14	12.5
岩手県	528	503	25	5.0	467	1.13	11.5
宮城県	942	886	56	6.3	835	1.13	11.3
秋田県	429	413	15	3.7	387	1.11	10.3
山形県	415	394	21	5.3	375	1.11	9.6
福島県	782	728	54	7.4	684	1.14	12.3
茨城県	1,136	1,065	71	6.7	989	1.15	12.9
栃木県	770	725	44	6.1	663	1.16	13.5
群馬県	799	756	43	5.6	690	1.16	13.6
埼玉県	2,827	2,596	231	8.9	2,556	1.11	9.7
千葉県	2,526	2,321	205	8.8	2,203	1.15	12.7
東京都	6,186	5,670	517	9.1	5,487	1.13	10.8
神奈川県	3,752	3,409	343	10.1	3,366	1.11	10.4
新潟県	888	844	45	5.3	795	1.12	10.4
富山県	408	379	29	7.5	358	1.14	11.6
石川県	471	441	26	6.7	407	1.16	13.5
福井県	293	275	18	6.6	254	1.15	13.1
山梨県	380	354	27	7.5	307	1.24	19.4
長野県	891	850	40	4.8	741	1.20	16.7
岐阜県	783	741	42	5.6	679	1.15	13.0
静岡県	1,487	1,388	99	7.1	1,285	1.16	13.5
愛知県	2,899	2,681	218	8.1	2,562	1.13	11.5
三重県	739	687	52	7.5	634	1.17	13.7
滋賀県	504	459	45	9.9	440	1.15	12.7
京都府	1,201	1,111	90	8.1	1,043	1.15	12.7
大阪府	4,131	3,853	278	7.2	3,515	1.18	14.6
兵庫県	2,380	2,214	166	7.5	2,068	1.15	13.2
奈良県	562	526	36	6.9	486	1.16	13.5
和歌山県	459	431	28	6.4	378	1.22	17.5
鳥取県	231	215	17	7.7	201	1.15	13.0
島根県	284	277	6	2.2	251	1.13	11.1
岡山県	804	759	45	5.9	700	1.15	13.0
広島県	1,272	1,198	74	6.1	1,104	1.15	13.5
山口県	655	633	22	3.4	575	1.14	12.6
徳島県	336	320	17	5.3	290	1.16	13.7
香川県	421	405	16	3.9	364	1.16	13.9
愛媛県	650	621	29	4.6	562	1.16	13.7
高知県	374	347	26	7.6	321	1.16	14.1
福岡県	2,195	2,009	186	9.2	1,951	1.13	11.1
佐賀県	303	300	4	1.2	276	1.10	9.4
長崎県	603	586	17	3.0	531	1.14	12.3
熊本県	730	687	42	6.2	650	1.12	11.2
大分県	517	496	21	4.2	451	1.15	12.7
宮崎県	490	474	17	3.5	438	1.12	10.9
鹿児島県	810	782	28	3.6	705	1.15	13.1
沖縄県	520	471	49	10.5	468	1.11	10.0

## 全国平均を上回る京阪神大都市圏の1世帯当たり住宅数と空き家率

関東、中京及び京阪神の3大都市圏について総住宅数をみると、関東大都市圏は1577万戸で全国の29.3%を占め、京阪神大都市圏は837万戸(15.5%)、中京大都市圏は355万戸(6.6%)となっている。これら3大都市圏の総住宅数は2769万戸となり、全国の51.4%と過半数の住宅がこれらの地域に集中している。

各大都市圏の1世帯当たりの住宅数及び空き家率をみると、京阪神大都市圏(1.16戸, 13.7%)は、全国平均(1.14戸, 12.2%)をそれぞれ0.02戸, 1.5ポイント上回っているが、関東大都市圏及び中京大都市圏は共に全国平均を下回っている。

表1-6 総住宅数, 総世帯数, 1世帯当たり住宅数及び空き家率 - 3大都市圏(平成10年, 15年)

3大都市圏	総住宅数(1000戸)				総世帯数 (1000世帯)	1世帯当たり 住宅数(戸)	空き家率(%)
	平成15年	平成10年	平成10年~15年の増加				
			増加数	増加率(%)			
全 国	53,891	50,246	3,645	7.3	47,255	1.14	12.2
3 大 都 市 圏	27,686	25,773	1,913	7.4	24,344	1.14	11.9
関 東 大 都 市 圏 1)	15,768	14,404	1,365	9.5	14,024	1.12	10.9
中 京 大 都 市 圏	3,546	3,376	170	5.0	3,118	1.14	11.9
京 阪 神 大 都 市 圏	8,371	7,993	378	4.7	7,203	1.16	13.7

注) 1) 平成10年は京浜葉大都市圏。以下同じ。

## 中心部と「30~40km帯」で総住宅数の増加率が高い東京70扣圏

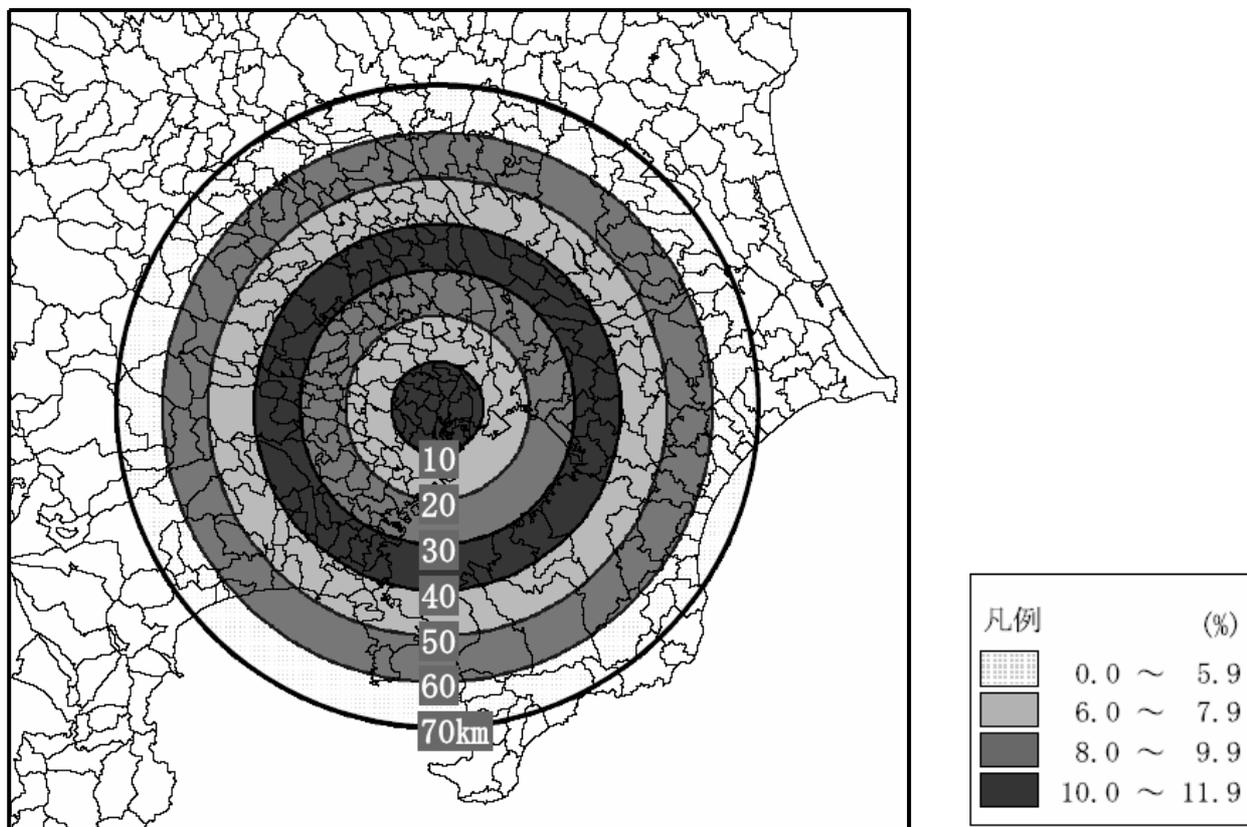
旧東京都庁を中心とした東京70扣圏(以下「東京70扣圏」という。)の距離帯別総住宅数の増加率をみると、60km未満の各距離帯で全国平均(7.3%増)より高くなっており、「30~40km帯」が11.8%増と最も高く、次いで「0~10km帯」が11.4%で、この二つの距離帯で10%台の増加率となっている。一方、「60~70km帯」は5.3%増と最も低くなっているが、1世帯当たり住宅数と空き家率は最も高くなっている。

名古屋市役所を中心とした名古屋50扣圏(以下「名古屋50扣圏」という。)をみると、「30~40km帯」以外の各距離帯で全国平均(7.3%増)より高くなっており、「40~50km帯」が9.4%と最も高く、最も低いのは「30~40km帯」の5.9%増である。1世帯当たり住宅数と空き家率は「0~10km帯」が最も高くなっている。

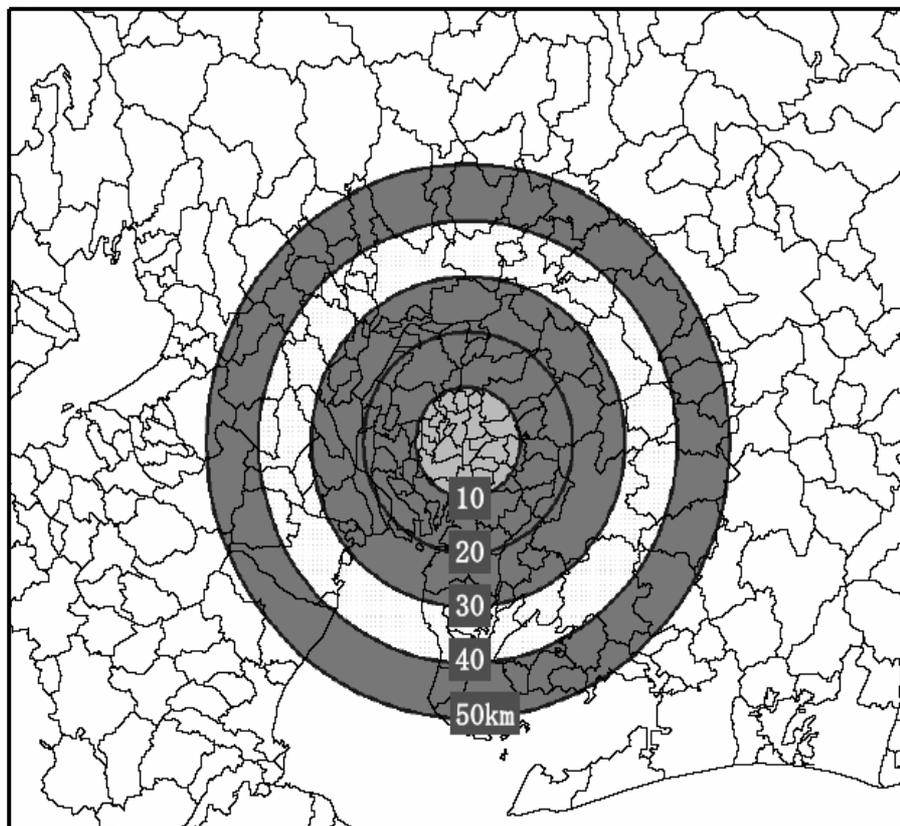
大阪市役所を中心とした大阪50扣圏(以下「大阪50扣圏」という。)をみると、20~40km未満の各距離帯で全国平均(7.3%増)より高くなっており、最も低いのは「10~20km帯」の6.1%増である。1世帯当たり住宅数と空き家率は「0~10km帯」で最も高くなっている。

図 1-6 住宅数の増加率 - 距離帯 (平成 15 年)

(1) 旧東京都庁を中心とする 70 和圏



(2) 名古屋市役所を中心とする 50 和圏



(3) 大阪市役所を中心とする50キロ圏

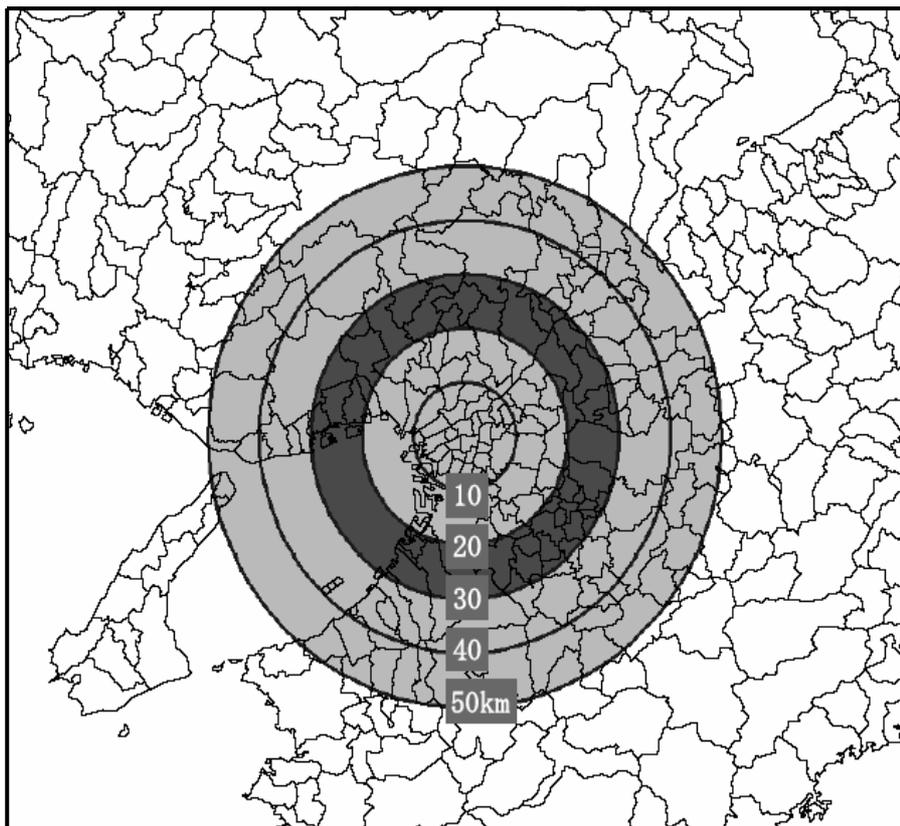


表1-7 総住宅数, 総世帯数, 1世帯当たり住宅数及び空き家率 - 距離帯 (平成10年, 15年)

距離圏	総住宅数(1000戸)				総世帯数 (1000世帯)	1世帯当たり 住宅数(戸)	空き家率(%)
	平成15年	平成10年	平成10年～15年の増加				
			増加数	増加率(%)			
全 国	53,891	50,246	3,645	7.3	47,255	1.14	12.2
東京70キロ圏	15,643	14,321	1,322	9.2	13,939	1.12	10.7
0～10 km	1,935	1,737	199	11.4	1,676	1.15	11.6
10～20 km	4,240	3,942	298	7.6	3,781	1.12	10.7
20～30 km	3,200	2,917	283	9.7	2,885	1.11	10.1
30～40 km	2,967	2,653	314	11.8	2,665	1.11	10.3
40～50 km	1,877	1,744	133	7.6	1,693	1.11	10.0
50～60 km	827	761	66	8.7	723	1.14	12.4
60～70 km	598	568	30	5.3	517	1.16	13.4
名古屋50キロ圏	3,586	3,328	258	7.8	3,155	1.14	11.8
0～10 km	1,065	987	78	7.9	913	1.17	13.8
10～20 km	846	783	63	8.0	762	1.11	9.9
20～30 km	635	583	52	8.9	577	1.10	9.5
30～40 km	798	753	44	5.9	687	1.16	13.5
40～50 km	243	222	21	9.4	216	1.12	10.6
大阪50キロ圏	7,567	7,038	529	7.5	6,507	1.16	13.8
0～10 km	2,246	2,102	144	6.9	1,855	1.21	16.8
10～20 km	1,688	1,591	96	6.1	1,475	1.14	12.8
20～30 km	1,170	1,054	116	11.0	1,036	1.13	11.4
30～40 km	1,312	1,217	96	7.8	1,147	1.14	12.5
40～50 km	1,152	1,075	78	7.2	995	1.16	13.2